

# ほっとステーション

みなさんからのタイトル・情報募集！ kawasaki@zenkouro.org

全国厚生連労働組合連合会  
青年委員  
台東区入谷  
1-9-5-6階  
03-3874-3591

## 例年以上の参加でウィンターフェスタ開催 長厚労青年部がウィンターフェスティバル

2月9～10日に長厚労青年部ウィンターフェスティバルを菅平高原で開催しました。全体で170名、秋厚労から1名、埼厚労からも3名参加して頂き、全厚労の仲間とも交流を深めました。

今回の開催場所が菅平ということもあり、リハセンター支部の地元から他支部と交流を目的に多くの参加者を募りました。結果的に例年より5倍の参加人数を集めることができました。参加者からは、「色々なイベントがあって楽しかった」「他職種・他支部の人と交流ができて良かった」などと良い感想を頂きました。

また今回、埼玉・秋田の青年部の仲間も参加があり、長厚労青年部の良さも伝えられ、県外での活動も聞く事ができ、いい交流の機会となりました。今後も長厚労の中だけでなく、全国の青年部の皆さんと交流していき、仲間を作り、長厚労の青年部をはじめ、全厚労青年部を盛り上げていければと思います。

リハセンター支部 青年部長 番場 靖



菅平サンホテルの前で記念写真

## 新潟で青年委員会冬の交流会を開催 職種・職場を超えて活発な交流できた

2月23日(土)～24日(日)の2日間、美人になれる温泉として名高い新発田市の月岡温泉「ホテル清風苑」にて80人の青年が集まり青年委員会冬の交流会が行われました。

1日目は学習会を行いました。これから始まる春闘に向けた学習会を行ったあと、青年委員会の役員が中心となり企画を立てたグループワークが行われました。グループワークでは「職場環境を良くするには?～青年委員としてできること～」という議題で話し合いを行い、支部や職種を超えて活発な意見が飛び交い、実りのある学習会となりました。

その後は懇親会で、交流会では恒例となったギネス大会を行い、大いに盛り上がり楽しむことができました。

2日目は、ソフトバレーボール大会で汗を流しました。班ごとに熱戦が繰り広げられ、職種、職場を超えた交流を図ることができました。



白熱したソフトバレーに交流も広がりました

参加者からは「楽しく学習し多くの人と交流ができてよかった」「また、参加したい」といった声が多く聞かれました。

次回、夏の交流会の場所、内容はまだ決まっていませんが、今後も多くの仲間が楽しく、活発な活動ができるような青年委員会にしていきたいと思えます。新潟県厚生連労働組合 書記次長 和田祐輔

## 情報を隠す政策は福島原発事故の対応と似ている 被災59周年3・1ビキニデー集会

2月28日～3月1日静岡県焼津市にて3・1ビキニデー集会が開催され全国集会に1500人(全厚労からは27名)が参加しました。

全厚労は「平和でこそ命はまもれる」「命を奪う戦争と医療は相容れない」として毎年8月の原水爆禁止世界大会とビキニデー集会に参加をしてきました。今年ビキニデー集会に合わせ、平和学習会を開催しました。

高知の高校生たちが平和ゼミナールとして第五福龍丸だけではなく被曝の真相を探った「ビキニの海を忘れない」を鑑賞したあと4つに分かれてグループワークを行いました。参加者からは核実験の真相にふれて「水爆実験は6回行なわれていて少なくとも856隻も

## 墓参行動。久保山愛吉さんのお墓のある弘徳院に到着した福厚労の参加者

被曝していた」ことや「日本近海にも放射性物質や汚染されたマグロがやって来た」事を初めて知ったと感想がありました。また、アメリカの賠償金が支払われた後、日本政府が汚染調査を止めて、被曝を小さく見せようとした状況や補償がされなかった漁船があったことなど「福島原発事故の対応と似ている」と福島原発事故に対する国の政策との共通点を知り、「職場に帰ったらみんなに知らせたい」と話していました。

